

令和4年度第1回地域包括ケア推進協議会で出た意見について

委員意見	市回答
<p>「くらしのチェックリスト」は前計画策定の際にも実施していると思うが、前回結果と今回の結果を紐づけ、個人の経過を分析することはできるか。</p>	<p>今回は厚生労働省の標準案をほぼそのまま利用してアンケートを行ったが、前は長久手市独自の設問により行っているため個人の結果を紐付けることはできない。しかし、アンケート結果を全国的に共有できるシステムがあるため、今回の結果については、他の市町村や全国と比較することができる。</p>
<p>先を見据えた計画づくりのため、若い世代の声も集めるとよい。</p>	<p>「みらいスケッチシート」はサロンや通いの場を回って集めたものに加え、WEB調査を行った。41件の回答が集まり、そのうち40件が60歳未満の回答である。</p>
<p>・「趣味がない」という方が多い。特に男性が65歳を超えて趣味をつくるのは難しいと聞く。</p> <p>・市やNPO法人等、「居場所づくり」「生きがいづくり」に取り組むところは多い。しかし参加するかどうかはその人次第。</p> <p>・一人で暮らす方の意見を見ると、地域のつながりづくりが重要のようだ。困ったときに頼りやすい仕組みづくりをしてほしい。</p>	<p>アンケート調査の結果によれば、地域活動へ参加したい人は50%を超えており、女性よりも男性の方がその割合が高い。実際の通いの場には女性が多いが、参加したいと考える男性が潜在的にいる可能性がある。</p>